



糸原 壽之 議員

## 質問

## 日本遺産登録を活かす今後の展開は

## 町長

## たたら文化を更に活かした観光振興を推進する

**質問** 日本遺産となった「出雲の国たたら風土記」。世界唯一たたら炎のある町として、これを後世に残すためどのような事業を展開するか。

また、奥出雲町が日本遺産登録地であることを、町内外へ示す例えばたたらタワーのようなものが必要だと思うが、設置する考えはないか。

町長 鉄の道文化圏推進協議会では、シンボルマーク、ロゴタイプの製作、プロモーション映像、ポスターの作成、人材育成、東京での普及活動や関係市町村舎へのモニユメント設置、たたら絵本や紙芝居の作成を行っている。

本町では、玉鋼を活用した製品づくりやたたら関連の新商品開発、そしてたたら文化を活かした観光振興、及び刀匠の誘致を推進する

などの事業に取り組んでいる。提案のたたらタワーについては検討する。

## 施設利活用について

**質問** 少子高齢化が進展する中で、適切な公共施設の再配置や民間施設の利活用を、地域と行政とが協働して考えていく組織体制設置の考えはないか。

町長 公共施設の再配置については、施設の老朽化や機能の統合を見据えながら、3月に策定した公共施設総合管理計画の趣旨を踏まえ対応していく。

総務課長 施設の統廃合ありきではなく、地域の皆様方が、将来にわたって暮らし続けていくための取り組みを考えられ、そうした中で遊休施設の利活用について相談があれば、行政も一体となって進める。



「奥出雲たたらと刀剣館」の一層の充実と活用を望む